

仕 様 書

工 事 番 号		耐震性貯水槽新設工事(大和町萩原)
設 計 年 度	令 和 4 年 度	
施 工 方 法	請 負	
工 事 期 間		
工 事 概 要		
耐震性貯水槽(40m3) 1基 標識工 1基		

仕 様 書

特 記 仕 様 書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、耐震性貯水槽新設工事(大和町萩原)に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和4年8月）広島県**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
- ・ 耐震性貯水槽の設計手引き及び管理マニュアル((一財)日本消防設備安全センター)
 - ・ 道路標識設置基準
 - ・ 道路標識設置基準・同解説((社)日本道路協会)
 - ・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第3節 水張り検査

- 1 水張り検査を行うこと。
- 2 なお、異常を確認した場合は、受注者は原因を確認し、調査計画書を監督員に提出し補修すること。

第2章 材料

第1節 耐震性貯水槽

- 1 設置する貯水槽は、(一財)日本消防設備安全センターが認定する製品を使用すること。
- 2 本工事において、事前に使用する耐震性貯水槽の構造計算書を監督員に提出し承諾を得ること。
- 3 本工事完了後、設置した耐震性貯水槽に対する認定証((一財)日本消防設備安全センター)の原本を速やかに監督員に提出すること。

第3章 施工条件

第1節	工程	
1	地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査	
	調査項目	地下埋設物
	調査時期	工事施工前に調査を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする）
第2節	用地	
1	現場の復旧	
	原形復旧とする。	
第3節	公害対策	
1	事前・事後調査	
	調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。（設計変更の対象とする。）
	調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
	調査内容	柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
	範囲	監督員と協議するものとする
第4節	安全対策	
1	交通誘導員・警戒船・保安要員	
	貯水槽搬入時の交通誘導員は、2（人／日）を見込んでいる。	
第5節	建設副産物	
1	建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））	
	当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。	
	また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。	
	なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。	

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

1 工事用機資材の仮置き場所

受注者が責任をもって確保すること。
なお、借地料等については、受注者の負担とする。

2 施工時期

本工事は、製品製作期間を考慮し、約1ヶ月間の余裕期間を含んでいる。

第4章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和3年8月 広島県）『1-1-1-30 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
耐震性貯水槽		式		1	レベル1
耐震性貯水槽		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
残土処理工		式		1	レベル3
構造物撤去工		式		1	レベル2
基礎工		式		1	レベル3
基礎砕石工		m2		1	レベル4
基礎コンクリート工		式		1	レベル4
耐震性貯水槽設置工		式		1	レベル3
耐震性貯水槽設置工		式		1	レベル4
耐震性貯水槽		式		1	レベル4
小型標識工		式		1	レベル3
標識柱		式		1	レベル4
標識板		式		1	レベル4
全工種共通仮設		式		1	レベル1
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3

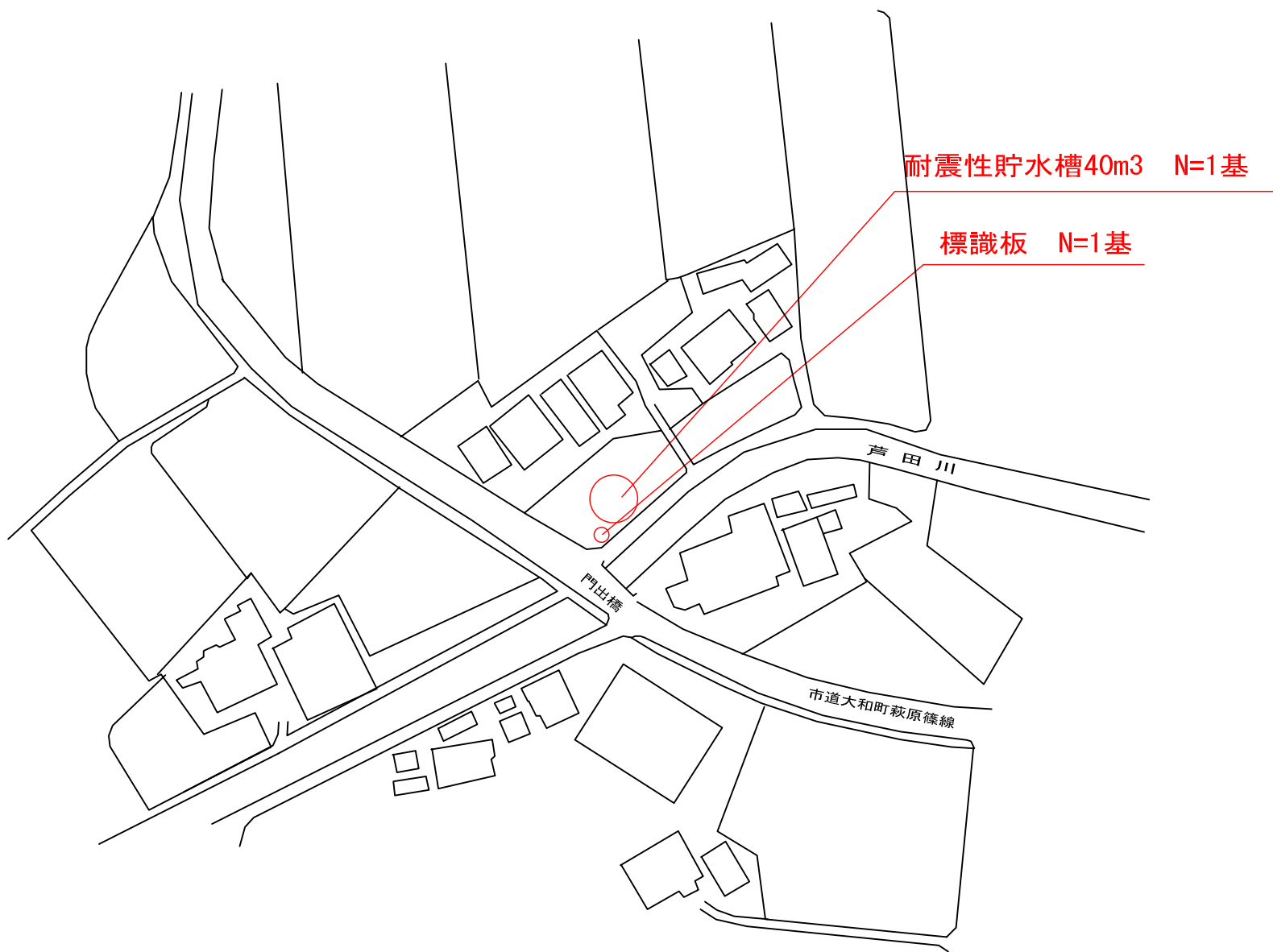
工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
交通誘導警備員		人		2	レベル4
直接工事費					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
土質試験費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

平 面 図

1 : 2000

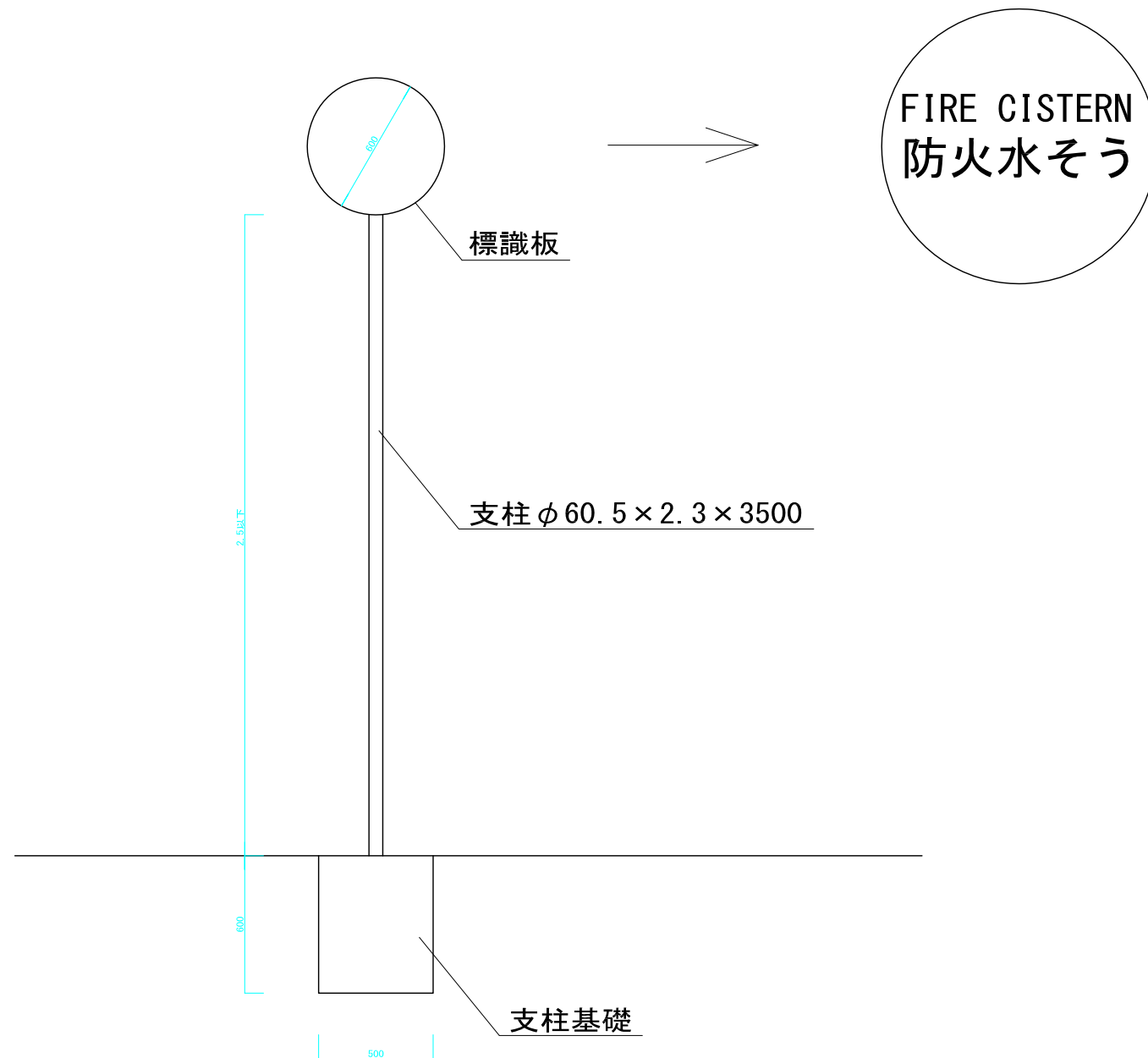


耐震性貯水槽仕様

〔貯 水 槽 形 式〕	耐震性貯水槽 40m3 (一財)日本消防設備センター認定品
〔吸管投入口形式〕	φ600
〔標 識 板 形 式〕	φ600 アルミ板
〔標 識 柱 形 式〕	φ60.5×2.3×3500
〔土 被 り〕	0.10m

構 造 図

1 : 20



図面番号	
工事名	耐震性貯水槽新設工事（大和町萩原）
種別	平面図
工事箇所	三原市大和町萩原
三 原 市	

参 考 資 料

—耐震性貯水槽新設工事(大和町萩原)—

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 48 三原市(大和) 00-04.08.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
耐震性貯水槽					Y1E01 レベル1
	1	式			
耐震性貯水槽					Y1E0106 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1E010601 レベル3
	1	式			
床掘り 【土砂】					Y1E01060102レベル4
	170	m3			
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し					SPK22040015 00
	170	m3			単第0 -0001 表
埋戻し 【土砂】					Y1E01060103レベル4
	80	m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満					SPK22040020 00
	80	m3			単第0 -0002 表
基面整正					Y1E01060104レベル4
	26	m2			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基面整正					SPK22040017 00
	26	m2			単第0 -0003 表
残土処理工					Y1E010110 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土砂】					Y1E01011002レベル4
	81	m3			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)					SPK22040002 00
	81	m3			単第0 -0004 表
残土等処分					Y1E01011003レベル4
	81	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
投棄料					F9001 00
	81	m3			
構造物撤去工					Y1E0112 レベル2
	1	式			
基礎工					Y1E011207 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基礎碎石工	1	m2			Y1E01120701レベル4
基礎碎石 碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	26	m2			SPK22040034 00 単第0 -0005 表
基礎コンクリート工	1	式			Y4999 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	4	m3			SPK22040144 00 単第0 -0006 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	9	m2			SPK22040146 00 単第0 -0007 表
モルタル練 高炉 混合比1:3	0.5	m3			SPK22040145 00 単第0 -0008 表
耐震性貯水槽設置工	1	式			Y3999 レベル3
耐震性貯水槽設置工	1	式			Y4999 レベル4
本体据付工	1	式			V0001 00 単第0 -0009 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本体縦締工	1	式			V0002 00 単第0 -0010 表
グラウト工	1	式			V0003 00 単第0 -0011 表
防水工	1	式			V0004 00 単第0 -0012 表
集水ピット緊結工	1	式			V0006 00 単第0 -0013 表
耐震性貯水槽	1	式			Y4999 レベル4
耐震性貯水槽（躯体）	1	式			V0005 00 単第0 -0014 表
小型標識工	1	式			Y3999 レベル3
標識柱	1	式			Y4999 レベル4
標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式] 単柱式 下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装(白色) 柱径φ60.5 [規]2基以下	1	基			SS000067 00 単第0 -0015 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標識板	1	式			Y4999 レベル4
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下	1	基			SS000223 00 単第0 -0016 表
標識板 φ600 取付金具含む	1	枚			F0000000001 00
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	2	人			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	2	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
土質試験費	1	式			YZZ06001001レベル4
簡易支持力測定	1	式			F1000000021 00
共通仮設費率分	1	式			Z0019
計算情報…… 対象額……… 率………					
共通仮設費計					
純工事費					

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
工事原価					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報…… 対象額……… 率………					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

床掘り
土砂 標準
機械構成比: 25.15% 労務構成比: 51.34% 材料構成比: 23.51% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 218.06000

SPK22040015 単第0 -0001 表 1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	25.15%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	51.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	23.51%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

頁0 -0010

埋戻し

SPK22040020

単第0 -0002 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 12.40% 労務構成比: 82.89% 材料構成比: 4.71% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,802.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	10.62%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8～1.1t	1.68%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8～1.1t		KTPC00008 KTPT00008
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.10%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	51.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	22.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.61%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0011

埋戻し

SPK22040020

單第0 -0002 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 12.40%

勞務構成比:

82.89%

材料構成比: 4.71%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,802.90000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

基面整正

SPK22040017

單第0 -0003 表

1

m2 当り

機械構成比:	0.00%	勞務構成比:	100.00%	材料構成比:	0.00%	市場單価構成比:	0.00%	標準單価:	432.00000
--------	-------	--------	---------	--------	-------	----------	-------	-------	-----------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

土砂等運搬

SPK22040002

単第0 -0004 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 47.26% 労務構成比:

37.92% 材料構成比: 14.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 963.56000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.26%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=13 距離5.5km以下(4.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0014

基礎碎石		SPK22040034		単第0 -0005 表	
碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下		RC-40		1	
機械構成比: 5.37%		労務構成比: 67.26%		標準単価: m2 当り 1,253.40000	
材料構成比: 27.37%		市場単価構成比: 0.00%			
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.34%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	32.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	13.99%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.65%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	7.87%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40～0mm	22.97%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.37%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0015

基礎碎石

SPK22040034

單第0 -0005 表

碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

機械構成比: 5.37% 勞務構成比:

67.26%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

**1
標準単価：**

m2 当り
1,253.40000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0006 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックハウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.44%

労務構成比:

37.63%

材料構成比:

57.93%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

28,884.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.19%		バックハウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.32%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.83%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0017

コンクリート

SPK22040144

單第0 -0006 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.44% **勞務構成比:**

37.63% 材料構成比: 57.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

28,884.00000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK22040146
均しコンクリート

単第0 -0007 表

1
標準単価:

m2 当り
4,423.80000

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	59.46%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	19.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.76%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施工単価表

モルタル練
高炉
機械構成比: 0.00%

SPK22040145

単第0 -0008 表

混合比1:3
労務構成比: 62.59%

材料構成比: 37.41%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 37,971.00000

m3 当り
37,971.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	62.59%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	24.56%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	12.85%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉 C=1 -(全ての費用)			B=3 混合比1:3		

施工単価表

頁0 -0020

本体据付工

V0001

單第0 -0009 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

本体縦締工

V0002

單第0 -0010 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

グラウト工

V0003

單第0 -0011 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

防水工

V0004

單第0 -0012 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

集水ピット緊結工

V0006

單第0 -0013 表

頁0 -0024

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

耐震性貯水槽（躯体）

V0005

單第0 -0014 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式]

SS000067

單第0 -0015 表

単柱式 下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装(白色) 柱径φ60.5 [規]2基以下

1

基 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

標識板設置

SS000223

單第0 -0016 表

警戒・規制・指示・路線番号標識

[規]2基以下

1

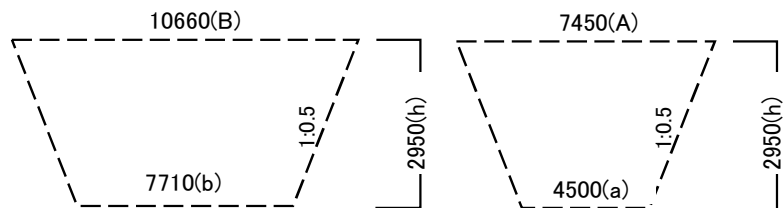
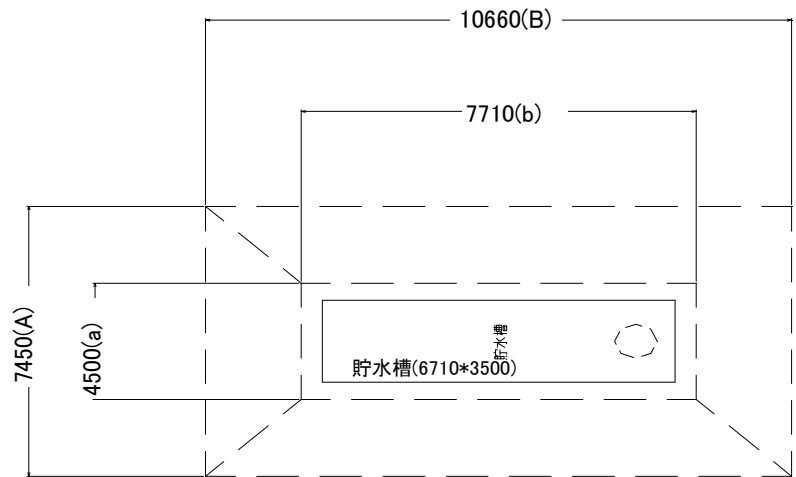
基 当り

[illegible]

工事数量総括表 耐震性貯水槽新設工事（大和町萩原）

工事区分 工種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量		備 考
					数 量	計上数量	
耐震性貯水槽新設工事（久井町泉）							
耐震性貯水槽設置工							
	作業土工						
		床掘り	砂質土	m ³	165.2	170	
		埋戻し		m ³	75.4	80	
		基面整正	砂質土	m ²	25.6	26	
	残土処理工						
		残土処理	砂質土	m ³	81.5	81	
	基礎工						
		基礎砕石	RC-40 t=200mm	m ²	25.6	26	
		基礎コンクリート	18-8-40 t=150mm	m ³	3.8	4	
		型枠		m ²	9.2	9	
		敷モルタル	1 : 3	m ³	0.5	0.5	
	耐震性貯水槽設置工						
		本体据付工		式	1.0	1	
		本体締付工		式	1.0	1	
		グラウト工		式	1.0	1	
		防水工		式	1.0	1	
	耐震性貯水槽材料						
		耐震性貯水槽	Ⅱ型 40m ³	基	1.0	1	
	標識工						
		標識柱標識板設置	φ 60.5×2.3×3,500	基	1.0	1	亜鉛メッキ
		防火水槽標識板	φ 600 アルミ板	枚	1.0	1	
		基礎ブロック	500×500×600	基	1.0	1	
技術管理費							
		簡易支持力測定	調査・報告書を含む	式	1.0	1	

土工数量計算書(1)



種 別	計 算 式	単位	数 量
【床掘底部】	$h = 2.95$ $A = 7.45$		
床掘工	$V_1 = \frac{h}{6} \{Ab + aB + 2(ab + AB)\}$ $B = 10.66$ $a = 4.50$ $b = 7.71$		
		m ³	164.04
【底設ピット部】			
床掘工	$V_2 = 1.55 \times 1.55 \times 0.50$	m ³	1.20
	計	m ³	165.24
【基面整正】			
基面整正	$A = 3.70 \times 6.91$	m ²	25.6
【残土処理】			
	$V = 165.24 - 75.38 \div 0.9$	m ²	81.5

土 工 数 量 計 算 書 (2)

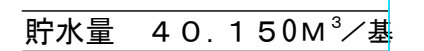
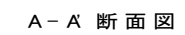
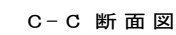
種 別	計 算 式	単位	数 量
【埋戻工】			
埋戻工B	＜ 埋戻控除分 ＞		
(躯体1)	$V_1 = 3.50 \times 6.71 \times 2.48$	m ³	58.24
(投入孔)	$V_3 = \pi \div 4 \times 0.83^2 \times 1.00$	m ³	0.54
(ピット)	$V_4 = 1.55 \times 1.55 \times 0.50$	m ³	1.20
(基礎工)	$V_5 = 25.6 + 3.84 + 0.47$	m ³	29.88
	控除計	m ³	89.86
埋戻工B	165.24 － 89.86	m ³	75.38

基礎工数量計算書(3)

種 別	計 算 式	単位	数 量
【基礎碎石】			
RC-40 (t=0.20m)	$A = 3.70 \times 6.91$	m ²	25.57
【基礎コンクリート】			
コンクリート工 (無筋・ポンプ車) (t=0.15m)	$V_1 = 3.70 \times 6.91 \times 0.15$	m ³	3.84
【モルタル工】			
モルタル工	$A = 3.50 \times 6.71$	m ²	23.49
1:3	$V = 23.49 \times 0.02$	m ³	0.47
【基礎型枠】			
型枠工	$A = \frac{3.50+6.71}{2} \times 0.15 \times 2$		
	$+ \frac{1.55+1.52}{2} \times 0.50 \times 4$	m ²	9.20



名 称	寸 法・規 格	単 位	数 量
Aタイプ(端面部材)	3500×2480×355	基	2.0
Bタイプ(中間部材)	3500×2480×2000	基	2.0
Cタイプ(中間部材) (底設・吸管投入口取付用)	3500×2480×2000	基	1.0
底 設 ビ ッ ト	φ600	個	1.0
吸 管 投 入 孔	φ600	個	1.0
P C 鋼 より 線	φ15.2mm	m	30.8
アンカープレート	Φ110×22	個	8.0
アンカーグリップ	φ15.2mm用	個	8.0



耐震性貯水槽 CT-40B- 型Ⅱ 部材表入組立図			
形 状 寸 法		6310×3100×2080	
設計 条件	荷 重	T-20	土被り H=0~1.50
	$\sigma_{ca}=14$ N/mm ²		$\sigma_{sa}=120$ N/mm ²
縮 尺	S=1/50		図 番

位置図

34.561396,132.936480



この図は、国土地理院地図を使用したものである。